

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立豊仁小学校

令和 7 年 4 月

(様式1)  
大阪市立豊仁小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の目標

本校では、教育目標を「生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体）の育成」とし、知育、德育、体育の視点から教育を推進している。

(知育)

○すべての児童が、家庭環境等にかかわらず、学習習慣を身につけ、基礎学力を定着させることを目標とする。

(德育)

○すべての児童が、自分から気持ちの良いあいさつができるようになることを目標とする。

○すべての児童が、規範意識を身につけ、だれに対しても公平公正な態度で接するようになることを目標とする。

○すべての児童が、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」ようになることを目標とする。

(体育・健康)

○すべての児童が、健康で健全な生活を営む生活意識を持つことを目標とする。

○すべての児童が、正しい食生活を身につけることを目標とする。

(特別支援教育)

○すべての児童が、障がいの有無を共有し、共に生きていくノーマライゼーションの意識をもつことを目標とする。

## 中期目標

大阪市教育振興基本計画(2022～2025年度版)を受けた3つの最重要目標

### 最重要目標1【安心・安全な教育の推進】

(1) 安全・安心な教育環境の実現

(2) 豊かな心の育成

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を100%にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。

○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

○校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

○校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を減少させる。

○次の内容について、校内調査において、肯定的に回答する児童の割合を次の目標値とする。

・「友だちや先生とあいさつしている。」目標値 90%

・「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思いますか。」目標値 100%

・「困っている人がいたら助けてあげたいと思いますか。」目標値 100%

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】を、2025年度末に85%以上にする。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】を、2025年度末に85%以上にする。

○「自分には、良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合【全国学力・学習状況調査】を、2025年度末に85%以上にする。

### 最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(3) 幼児教育の推進と質の向上

(4) 誰一人取り残さない学力の向上

(5) 健やかな体の育成

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。

○小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度と同じか、または向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 2025年度末の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 校内調査において、次の項目について肯定的に答える児童の割合がそれぞれの目標値を上回るようにする。
  - ・「1日1回以上、手を挙げて発表できている。」目標値80%
  - ・「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。」目標値90%
  - ・「授業の最後に学習内容をふり返る活動をよく行っていたと思いますか。」目標値80%
  - ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりすることができますか。」目標値80%
- C-NETと連携して、計画的に授業を行う。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査結果における体力合計点(教育振興基本計画の成果指標)の向上に向けて、前年度までの課題や現状を踏まえ、長座体前屈の平均の記録を、前年度より増加させる。
- 手洗い／ハンカチを持ってくるについて、点検カードの達成率が90%を上回る。
- 給食のマナーについて、校内調査において、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 平均正答率の対全国比【全国学力・学習状況調査】を、2025年度末に1.00にする。
- 体力合計点の対全国比【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】を2025年度末に1.00にする。

### 最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】

- (6)教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
- (7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり
- (8)生涯学習の支援
- (9)家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

- ICT教育に関して、日常的に活用しているタブレットを授業における有効な活用方法について、外部の方からの指導もいただきながら、学期ごとに確実に研修を進める。
- 週1回「ゆとりの日」を月中行事に組み込み、日常的に管理職から教職員に呼びかけを行う。
- ICT教育に関して、日常的に活用しているタブレットを授業における有効な活用方法について、学期ごとに外部の方からの指導もいただきながら確実に研修を進める。

- 北区の事業によるA I ロボット「pepper」などを活用してプログラミング教育を進める。夏季休業中に教員研修を実施し、2学期以降で児童とともに「pepper」などを活用した授業や、プログラミングの授業を展開する。
- 大阪市教育振興基本計画に盛り込まれた「多様性を備えたしなやかな教職員組織」のために、働き方改革を進める。具体的には、教職員の勤務実態として残業が多いことから、できるだけ残業を減らしていくことを目標とし、日常的に管理職から教職員に呼びかけを行う。

学校園における働き方改革プラン」を参考にし、昨年度実績が基準1は46.43%、基準2は82.14%であった。今年度、基準1、2ともに現状を維持できるようにし、「ゆとりの日」を週1日設定するようとする。

※基準1：時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

※基準2：1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 最重要目標1【安心・安全な教育の推進】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。(R6 83%)
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 80%)
- ・小学校学力経年調査における「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。(R6 94%)

#### 学校の年度目標

- ・校内調査における「日本と外国の違いや似ているところを理解することができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

### 最重要目標2【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を92%以上にする。(R6 91%)
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を68% (R6 67%) 以上にする。

#### 学校の年度目標

- ・「はみがきをする」点検カードの達成率を90%以上にする。
- ・給食のマナーについて、校内調査において、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。(R6 91%)

### 最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】

#### 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の60%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を58%以上にする。(R6 57%)
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。(R6 74%)

3 本年度の自己評価結果の総括



(様式2)

大阪市立豊仁小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>最重要目標1【安心・安全な教育の推進】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。(R6 83%)</li><li>・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6 80%)</li><li>・小学校学力経年調査における「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を95%以上にする。(R6 94%)</li></ul>	
<p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校内調査における「日本と外国の違いや似ているところを理解することができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。</li></ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>児童自身が将来の夢や希望持てるような道徳教育や学級活動の充実を図ることで自己肯定感の向上に取り組む。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 週に3回以上、学級活動やおわりの会などにおいて、友だちや自分の「いいところ見つけ」に取り組む。</li><li>② 自分を見つめたり、相互に認められたりする場所を設定し、仲間づくりを進め、学期に1回取り組み内容を共有する。</li></ul>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>学校のルールや安全を守るために主体的に行動できる力を育成する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 学校のきまりを守る強調週間を学期に1回、児童会が中心となって行う。また、強調週間終了後、児童に振り返らせることによって児童のきまりを守る意識をもてるようとする。</li><li>② 防犯・交通安全教室を年間1回以上実施する。</li></ul>	

取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

いじめや暴力行為、不登校を生まない学校づくりを進める。また、諸問題の早期発見、早期対応を進めるために、学校全体で組織的な対応を行う。

指標

- ① いじめ・不登校対策委員会(月1回)やいじめアンケートによる聞き取り(年3回)を行うことで、早期発見・早期解決に役立てる。
- ② 職員会議で、課題のある児童に対して、情報共有を行う。

取組内容④【基本的な方向② 豊かな心の育成】

外国にルーツを持つ児童と、そのほかの児童が分け隔てなく関わり合い、互いの文化を尊重できる児童を育成する。

指標

- ① 年に1回、ゲストティーチャーによる多文化共生教育を実施する。
- ② 外国とのあいさつを学級で取り入れたり、児童集会で異文化の遊びを体験する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立豊仁小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>最重要目標 2 【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 92%以上にする。 (R6 91%)</li> <li>・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 68% (R6 67%) 以上にする。</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はみがきをする」点検カードの達成率を 90%以上にする。</li> <li>・給食のマナーについて、校内調査において、肯定的に答える児童の割合を 92%以上にする。 (R6 91%)</li> </ul>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p><b>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 言語活動、理数教育を通して、思考力、判断力、表現力などの育成に取り組み、友達と交流することによって自分の考えを深めたり、広げたりする力を育成する。</p> <p><b>指標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにするために、各教科・領域の学習時において「話し合う場」の設定を工夫する。</li> <li>② 1 日に 1 回以上、自分の意見を発表できる力を育むために授業時間内に自分の思考を整理する時間の設定や、指導者が児童の学習習熟に合わせた発問などを工夫する。</li> <li>③ 各クラスで週 1 回程度自主学習の課題に取り組むようにすることで、児童が自らの学習課題を見出し、主体的に学校や家庭で学習を行う習慣を身につけるよう促す。</li> </ol> <p><b>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 校内研究や研修を充実させ、教員の指導力向上を図ることを通して、児童が主体</p>	進捗状況

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 言語活動、理数教育を通して、思考力、判断力、表現力などの育成に取り組み、友達と交流することによって自分の考えを深めたり、広げたりする力を育成する。</p> <p><b>指標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにするために、各教科・領域の学習時において「話し合う場」の設定を工夫する。</li> <li>② 1 日に 1 回以上、自分の意見を発表できる力を育むために授業時間内に自分の思考を整理する時間の設定や、指導者が児童の学習習熟に合わせた発問などを工夫する。</li> <li>③ 各クラスで週 1 回程度自主学習の課題に取り組むようにすることで、児童が自らの学習課題を見出し、主体的に学校や家庭で学習を行う習慣を身につけるよう促す。</li> </ol> <p><b>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> 校内研究や研修を充実させ、教員の指導力向上を図ることを通して、児童が主体</p>	進捗状況
	進捗状況

的・対話的に学習に取り組む態度を養う。

指標

- ① 国語科の授業研究会を、年3回実施する。
- ② メンター研修会を学期に1回以上を行う。
- ③ 特別支援教育研修を年3回行う。

取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】

体力向上に向けた取り組みを組織的・計画的に推進する。

指標

- ① 50m走の記録を縮めるために、準備運動時に股関節を広げたり、太ももを引き上げたりするストレッチを行う。
- ② 体力向上の取り組みを行う。
- ③ 体育に関する研修を、年間1回以上行う。

取組内容④【基本的な方向4 健やかな体の育成】

基本的な生活習慣や給食マナーの定着を図る。

指標

- ① はみがきを習慣化にできるよう、元気アップ週間とはみがきタイムを設定する。
- ② 残食を減らす。また、お箸を正しく使うことを心掛けるように取り組みを行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## (様式2)

## 大阪市立豊仁小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>最重要目標3【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の60%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]</li> <li>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を58%以上にする。（R6 57%）</li> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。（R6 74%）</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</b></p> <p>ICTによって児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深める。</p> <p><b>指標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1日の中で心の天気を必ず実施し、心の天気の入力に応じた児童への声掛けすることで困り感のある児童の発信を見逃さないようにする。</li> <li>デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用する。</li> <li>ICT活用に関する校内研修会を実施する。</li> </ol>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b></p> <p>子どもの読書活動を推進するために読書環境の整備に取り組む。</p> <p><b>指標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>図書室の開放を休み時間に行ったり、デジタルコンテンツを用いた読書に取り組んだりし、児童が本に触れる環境を作る。</li> <li>学級で読書の宿題を出すことで、家庭での読書を促す。</li> </ol>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>仕事と生活の両立の調和（ワークライフバランス）を可能とする働きやすい環境を整備する。</p> <p><b>指標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ゆとりの日を週1日設定する。</li> <li>会議や教職員一人一人の仕事内容の精選を図る。</li> </ol>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点